



2024年度
第34号

体育市民連帯 ニュースレター

1
体育市民連帯声明書
勝利至上主義に
倒れた
ラグビーを追悼し



2
文化体育観光委員会
体育界を叱咤・・・
「依然として19世紀」



3
安セヨンが
打ち上げたボール
体育団体論議として
飛ぶ



4
純粹で公正な
スポーツに熱狂する
私たちの汚染度を
悩みながら



5
スポーツ倫理センター
転地訓練費横領した
運動部指導者に
捜査依頼

6
スポーツ先進道
草の根体育で
咲き誇る



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

01 体育市民連帯声明書

勝利至上主義に倒れたラグーを追悼し

高麗大学と延世大学の定期戦は、大学の教育はもちろん、スポーツ競争において多くの靈感を与える立派な伝統だった。しかし、新軍部時代の3軍体育大会を連想させる過熱競争は、最高の知性の交流と和合を象徴する「高延戦-延高戦」（訳注：高麗大学校と延世大学校が毎年行う大学定期戦。延世大主催試合は高延戦、高麗大主催試合は延高戦が公式名称）を勝利至上主義に染まった浅薄な戦いに追い込んでいる。いったいその定期戦のどんなことが苦痛を訴える丈夫な青年の叫びを「大げさ」と片付け、人生を渴望する痙攣と混迷した精神を弱い「放棄」と規定するのか、教育界と体育界の皆はこのような慣行に対して必ず答えなければならない。

最も激しい競争に備える体力と技術、そして戦略はラグビー試合で勝利するための崇高な動きだが、試合後、皆が一つになるノーサイド(No-side)もラグビー試合の本質だ。ひたすら勝利だけのための定期戦を準備しながら数えきれないほど心を引き締め、自分の限界を越えようと努力して倒れた丈夫なラグーの死の前で、いったいノーサイドはどこにあるのか、人が人らしいための人権はどこに消えたのか問わざるを得ない。

これに対し体育市民連帯は会員たちの衆知を集めて教育と体育当局、そして高麗大、延世大に促す。

- 一、非人権的訓練環境の責任を究明し、責任者を処罰せよ。
- 一、友好的競争を阻害する定期戦の過熱した競争文化を直ちに改善せよ。

2024. 8. 28

体育市民連帯

02 連合ニュース 2024.08.26

文化体育観光委員会、「洪ミョンボ、安セヨン」論議に体育界を叱咤・・・ 「依然として19世紀」



与野党は26日、国会文化体育観光委員会全体会議で、サッカー国家代表の洪ミョンボ監督選任、パリ五輪バドミントン金メダリストの安セヨンの「決心発言」論議をめぐり、体育界を一斉に叱咤した。

国民の力のシン・ドンウク議員は「大韓民国のスポーツ団体が時代変化を読めずにいる感じ」とし「オリンピックを見ながら体育行政に失望した方々が本当に多い。安セヨン選手の問題はありえないことだ」と指摘した。

共に民主党のカン・ユジョン議員も「成功的なオリンピック結果にもかかわらず選手団から不満が出ている」として「韓国の体育界が依然として19世紀の慣行にあり、選手だけが21世紀に来ているのではないかと思う」と話した。

大韓体育会がパリ五輪の国家代表選手を対象に昨年 12 月に海兵隊兵営体験を実施したことについても、「このような文化が残っているのは驚くべきことだ」（民主党ミン・ヒョンベ）、「理解できない」（シン・ドンウク）などの批判が出た。

与野党は、代表監督選任論議を呼んだ大韓サッカー協会も強く批判した。

国民の力のキム・スンス議員は「サッカー協会が責任ある措置や説明をせず国民の怒りが沸き立っている」として「明白な瑕疵が発生したとすれば責任ある措置と厳罰が必要だ」と促した。

民主党のチョ・ゲウォン議員も「サッカー協会に向けた批判世論が極に達した」として「文化体育観光部の監査が一回性に終わってはならず、問題を覆い隠すことがあってはならない」と強調した。

この日の会議では民主党のイ・ジェミョン代表が城南市長時代に城南 FC の球団主としていながら市公務員と共謀し 130 億ウォン余りの企業後援金を誘致し、これら企業が建築許認可や土地用途変更などの便宜を受けたという「城南 FC 後援金疑惑」も俎上に載せられた。

民主党の林オギョン議員は李ギフン大韓体育会長に向かって「体育会が広告・広報『スポンサー』（後援）をたくさん受けた方が良いか、悪いか」と尋ね、李会長は「良い」と答えた。

林議員は「広告・広報スポンサーを受けるリーダーが能力者」として「城南 FC 広告・広報スポンサーを受けたと検察調査を受ける人がある。李代表の話」と言及した後、「現政権が城南 FC 事件で（李代表を）調査すること自体が間違っている」と主張した。

これに対し国民のカム・スンス議員は「種目別体育団体寄付金と城南 FC 問題を比較するのはとんでもない話」と反論した。

キム議員は「イ・ジェミョン当時、城南市長の場合、後援金を出した企業と都市計画用途変更のような許認可問題があつて特惠疑惑があるということ」とし「これを純粋な意図で世界的スタープレイヤーを後援する方々と比較するのはその方々を侮辱すること」と話した。

一方、国会審査要件である 5 万人以上の同意を得た大韓サッカー協会監査および解体要求国民同意請願はこの日、文体委請願審査小委に回付された。

文体委は来月 24 日、洪監督選任、安セヨン発言論議と関連し、懸案質疑を行う予定だ。与野党は洪監督とサッカー協会の鄭モンギョ会長および李イムセン技術総括理事、李ギフン大韓体育会長などを証人として呼ぶ案を協議中だ。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240826144100001?input=1195m>

03 シサ IN 2024. 08. 26

安セヨンが打ち上げたボール、体育団体論議として飛ぶ



パリオリンピックが終わったが、スポーツ界には後暴風が続いている。発端となったのは五輪バドミントン女子シングルス金メダリストの安セヨン選手の「決心批判」だった。安選手はメダル受賞直後、協会の負傷管理などを批判した。シン・ミョンジュ大韓射撃連盟会長が五輪期間中に辞任することもあった。シン会長は京畿道龍仁で病院を運営しているが、最近その病院に対する賃金未払い関連申告が大挙入ってきた事実が知らされ会長職から退いた。五輪前に A 代表監督選任の件で大韓サッカー協会に非難が多かった状況で、このようなこ

とまで重なり、体育団体全般に対する批判がオンラインにあふれた。3つのポイントで体育関連の話題をまとめた。

■ 体育団体って何？

体育団体は、国民体育振興法の定義により体育に関する活動若しくは事業を目的として設立された法人又は団体をいう。文体部傘下の公共機関である大韓体育会、大韓障害者体育会、地方体育会、大韓体育会・大韓障害者体育会に加盟した競技団体などが含まれる。

文化体育観光部が発表した最新資料「2022 体育白書」によると、大韓体育会の年間予算は4630億ウォン（2022年基準）だ。94.4%が国民体育振興基金であり、独自の収入が5.2%台だ。2009年に大韓オリンピック委員会が大韓体育会に統合され、大韓体育会はオリンピック事業と関連してIOCと対外的に交渉できる唯一の団体となった。過去には大韓体育会と生活体育底辺拡大を目的に設立された国民生活体育会に二元化されたが、専門体育と生活体育間連係などを理由に2016年大韓体育会に統合された。これで体育界で最も大きな声を出す団体になった。

2022年基準で大韓体育会の正会員種目団体は62個、準会員種目団体は9、認定団体は11だ。五輪に出場する種目団体は正会員として加入している。大韓空手連盟や大韓ムエタイ協会のような団体が準会員や認定団体だ。

大韓体育会の正会員団体でも、各種目団体の予算と財政自立度は大きく差がある。最も予算の多い団体は大韓サッカー協会だ。1255億ウォン（財政自立度74.26%）で、他の体育団体とは比べ物にならないほど大きい。その次が大韓バドミントン協会だ。151億ウォンあまりだ（財政自立度45%）。今回のパリ五輪でメダルを取った11種目を基準にみると、予算は26億ウォン（大韓重量挙げ連盟）から151億ウォン（大韓バドミントン協会）までだ。財政自立度は21.65%（大韓ボクシング協会）から68.28%（大韓アーチェリー協会）水準となっている。協会役員はたいてい無報酬・名誉職だ。

実は「会長社」という言葉は昔話になった。1988年のソウル五輪を控え、政府は財閥・大企業に協会を任せることにした。政府が乗り出して企業が寄付金を出すようにした。しかし、第1世代のトップらが退き、体育団体長を務めた企業は多くない。アーチェリー（現代自動車）、フェンシング（SK）程度が目立つ。体育団体会長社を引き受けたことがある大企業の役員は「4年に一度広報に役立つ水準だが、企業の立場ではあまりメリットがない。また、体育団体内の紛争が思ったより多かった。そのような葛藤を見れば「あえて会長社をなぜ引き受けるのか」と思う。これ以上会長を務める計画はない」と述べた。スポーツの底辺が薄く、スポーツ生態系が脆弱な状態で大企業の支援でオリンピックでメダルを取るモデルが果たして「模範」なのかについても疑問を提起する声も存在する。

■ 個人スポンサーはどこまで？

五輪後、安セヨン選手は「個人スポンサー契約を解除してほしい」と話した。バドミントン協会の規定によると、国家代表の資格で訓練・大会参加時に協会が指定した競技服および競技用品を使用し、協会要請時に広報に「積極的に協力」しなければならない。個人後援契約は一つに制限される。安セヨン選手は靴の不便さを理由に他のブランドの靴を履きたいと要請したが断られたという。

チョン・ヨンベ教授（檀国大スポーツ経営学科）は「バドミントンがプロとアマチュアの間には挟まれている種目」と説明した。「他の非人気アマチュア種目では個人スポンサー契約が容易ではなく、今回の論難が『別世界』の話のように聞こえるだろう。バドミントンはアマチュア種目でありながらも同好人が多く、個人スポンサー契約の可能性が高い。安セヨン選手の個人スポンサー契約拡大の主張に反対はしないが、

協会の主張にも一理がある。個人後援の制約をなくせば、特定選手に後援が集中し、代表チームのスポンサー後援が大きな比重を占める協会財政にも問題になりかねない。そのお金で他の代表チーム選手とジュニア選手を支援してきたのだ。容易ではない問題だ。選手と協会の間で均衡点を見出すしかない」

■ 「柳インチョン vs 李ギフン」葛藤は？

柳インチョン文化体育観光部長官と李ギフン大韓体育会長は、五輪前から対立してきた。例えば李ギフン会長は昨年12月、国家代表選手400人余りを海兵隊に入所させる「ワンチーム 코리아」キャンプを強行した。五輪で成果を出すと「海兵隊訓練などを通じて『ワンチーム 코리아』文化ができた」と話したりもした。反面、柳インチョン長官は「海兵隊入所訓練は旧時代的発想」と強く批判した経緯がある。

7月に大韓体育会は体育団体長の再任を制限した定款改正案を可決したが、柳インチョン長官はこれに対して「定款改正案を絶対承認しない」と反対した（李ギフン会長は大韓体育会傘下のスポーツ公正委員会の審査を経れば3選に挑戦できる）。8月13日、仁川国際空港でも妙な場面が繰り広げられた。同日、李ギフン会長をはじめ、7種目の選手団50人あまりが帰国した。柳インチョン長官らが出席する解団式が予定されていた。ところが帰国直後、大韓体育会は選手団の疲労を理由に空港内のあるホールで予定されていた解団式を取り消し、入国場前で解散した。「体育会が一方的に日程を変更した」という報道が出た。

両者の葛藤は、他の省庁の長官と傘下機関長の間では見られないことだ。ある体育界の関係者は、このように話した。「李ギフン会長は大田の事業家出身で資産が多い。信徒会長を務めるなど、仏教界の人脈も厚い。2016年から会長を務めているが、パク・クネ、ムン・ジェイン政府で政権が推す候補と競って再選したほど体育界掌握力が大きい。大韓体育会長選挙人団は抽選式で構成されるが、来年1月に李会長が3選に挑戦することになれば当選可能性が高い」

柳インチョン長官は8月12日、「(五輪が終わった)今が体育政策を新たに整え、改革する適期だ」と述べた。文体部はこの間、大韓体育会を通じて傘下機構および種目団体に予算を交付してきたが、直接交付する方式に変更することを検討中だ。大韓体育会側は「体育会を手なずけるための目的」「旧時代的行政」という表現を使って反発した。

出典：<https://www.sisain.co.kr/news/articleView.html?idxno=53811>

04 ヘッドライン 済州 2024. 08. 26

純粋で公正なスポーツに熱狂する私たちの汚染度を悩みながら



人生の美しい刹那そのものに気づき、完全に満喫することはどれほど祝福か。いつもより蒸し暑くて蒸れるような時間の中でも今回の8月は、多くの人がスポーツに熱狂して泣き笑った。熱い日差しは関係ないかのように、ほぼ一生をかけて自分をかけて固めてきた選手たちが、毎瞬間が人生の絶頂であるかのように試合を繰り広げていった。それを見守る観衆もやはり、生涯にとどまらないあの絶頂の場面に魅了され感動した。少なくともフェアプレー精神が生き生きとした人生の場面は、構造的矛盾と不条理によって人生全体を貧弱だと考えるために、より一層、その純粋な情熱に心が溢れたりするように見えた。

フランス・パリでオリンピックが開かれた。オープニング行事から多様な実験的場面と演出、とんでもないミスが連発される中で、誰かは行き過ぎた PC が公演を台無しにしたと言い、誰かはそれによって無害な笑いをすることができたと話したりもした。多様なネット情報が毎日あふれ出て、ぼうぼう人もくすくす笑う人も関係なく、今回の五輪が養成する楽しさを楽しんでいるように見えた。もちろん、渦中に私のようにオリンピックボイコットをする人々もいた。これらすべての人が賑やかに語り合うオリンピックの話は、おおむね陽気に見えた、少なくとも性別の問題が台頭するまでは。

いつからか特に女性選手の場合にのみ注目されるこの染色体議論は、五輪の固定ニュースになる実情だ。男性的に見える選手や技量が優れていると思われる選手の DNA を追跡し、「XY 染色体が浮上すれば、声を高めて男性が騙し、女性の試合に乱入して乱闘場を作り、メダルを盗んだ」という報道が相次いだ。今回の国際オリンピック委員会 (IOC) は、国際ボクシング協会 (IBA) の立場とは違って、女性のアイデンティティを持った選手の参加を認めた。それで、まるで男性が女性を殴ったというような刺激的で過熱した報道が続いたりもした。

「超男性」理論がある。Y 染色体が男性の性別を決定すると知られて以来、これをもう一つ持つ場合、男性的特徴が集中的に高くなるという研究だ。英国の細胞遺伝学者パトリシア・ジェイコブズは、暴力的な精神疾患入院患者の 3.5% が XYY 染色体を持っているという事実を根拠に、〈ネイチャー〉に異常な攻撃行動を起こすという内容の論文を発表することになる。長い性的少数者嫌悪の一軸を担う歴史の始まりだった。以後の研究によると、XYY 染色体を持つ男性患者の攻撃性に差がなく、97% が犯罪履歴さえないことが分かった。2000 年になると、男性の性別、生殖と関連した遺伝子が、むしろ女性染色体として知られている「X」に集まっていることが明らかになった。人間は性染色体として知られていることがどのように明らかになっても、男性でないことも、男性であることもありうるのだ。すなわち、性別を決めるのは性染色体ではないということだ。(参照: 淑明女子大学グローバルガバナンス研究所研究教授 イム・ソヨン、ハンギョレ 2020.09.08. 記事)

人の体は、このように男性と女性の二つの性別だけに分けられるわけではない。インターセックスもあり、性ホルモン施術や性転換手術を通じて性別を変えていくこともある。公正という物差しを突きつけて説明するには、荒々しく両性に区別して区画するのは暴力的だ。繊細で正確な科学的根拠で議論されなければならない。トーマス・バッハ IOC 委員長は、「染色体検査だけでは男女の区別が不可能なので、外見で男女を判断する人、または政治的利害関係が大きく、信頼できない団体の名誉登録キャンペーンによって犠牲になってはならない」と述べた。今回大きな問題となったアルジェリアのボクサーは、国家政策上、性転換手術も手術も不可能だ。だからトランスジェンダーでもない。トランスジェンダーになっても、持続的に女性の身体を維持するために加えられる数多くの医学的施術によって、男性と似た程度のパワーを持つことも難しい。彼女は高アンドロゲン症を患い、XY 染色体が血液内に存在するだけだ。女性の身体として生まれ、女性として一生を過ごし、選手生活の間、他の女性選手に 9 回の KO 負けも喫した。世の中はなぜ、これまで彼女が無残に受けた 9 回の完敗は覚えていないのだろうか。

数日前には京都国際高校が甲子園 (全国高等学校野球選手権大会) で優勝した。全試合がトーナメント形式なので、一度の失敗でも決勝に至らない勝負の世界、日本の国民スポーツと称され、全国 4,000 校の高校野球部の試合という点で、熱い青春の夢として描かれるのがまさに「甲子園」競技だ。文字通り、甲子園は聖地に近い、試合後、勝敗関係なく甲子園の土を収集していくのだろうか。そこに全生徒 160 人、選手 61 人の、野球試合の練習をするにはとんでもなく小さな運動場を持つ、韓国系国際高校で奇跡のような

勝利を手にした。外国系学校が甲子園優勝も初めてだ。決勝戦延長 10 回、二死満塁ツーアウトの状況で勝利を引き出し、校歌が韓国語で響き渡った時、涙を流したという人々の書き込みが SNS にあふれた。

「日本の植民地」の経験を持つ韓国人の鬱憤と民族主義的、国家主義的感性も一役買っただろうし、いろいろと劣悪な環境で最善を尽くした球団の皆の情熱に感動しただろう。

この感動の瞬間に皮肉なことに、選手のうち 3 人だけが韓国国籍で、残りは日本国籍だということが分かった。さまざまなソーシャルメディアやニュースを行き来しながら観察してみた結果、韓国人が当惑する姿を見せたり、韓国系だとしても日本国籍取得が容易だったり有利だと判断した人もいるだろうという推測もした。気になるのはそこで、「実は日本人選手」というこの事実が感動を削除しているのかという点だ。まるで 9 戦 10 期の女性ボクサーが、XY 染色体も持っていたとして人権を踏みにじって侮辱したのと比べてだ。韓民族ではないので、性的少数者なので、もしかして感動が揺れるのか。「純粹」と「公正」な「アマチュア精神」の産物である高校野球と五輪で、純粹でも公正でもない彼らは誰なのか反省してみるべきだ。

ハン・ジョンソン/少数者活動家および作家

出典：<https://www.headlinejeju.co.kr/news/articleView.html?idxno=551173>

05 SBS ニュース 2024. 08. 20

スポーツ倫理センター、転地訓練費横領した運動部指導者に捜査依頼



文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターが、転地訓練費を横領した A 広城市体育会職場運動競技部の指導者 B 氏を捜査依頼したと発表しました。

スポーツ倫理センターは 7 月 12 日、第 7 次審議委員会で B 氏が転地訓練費、大会参加費などを業務上横領し、指導者として選手たちの訓練指導を怠った疑惑を認め捜査依頼し懲戒・監査要請を議決したと伝えました。

スポーツ倫理センター審議委員会は「B 氏が転地訓練と大会参加宿泊費を虚偽で決裁したり、カードカン（訳注：クレジットカードを不法に現金化すること）をする方法で補助金を横領し、虚偽で訓練日誌を作成するなどの不正行為がかなり重大だと指摘した」とし「横領の範囲が広大で持続的だったという点で捜査依頼および監査要請をした」と付け加えました。

スポーツ倫理センターは「一部の指導者が参加宿泊費を横領するなど、国家補助金を不正に流用することで、選手の競技力低下はもちろん、訓練環境の毀損による人権侵害も誘発したのは深刻な不正行為に当たり、今後も厳正に対処していく」としています。

スポーツ倫理センターは今年 6 月 30 日現在、申告を受け付けた事件の現況を見ると、体育界の不正が 56.5%、人権侵害が 43.5%を占めたと伝えました。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007768451&plink=ORI&cooper=NAVER

スポーツ先進道、草の根体育で咲き誇る



全羅北道特別自治道がスポーツクラブの活性化を通じてスポーツ先進化にエンジンかけた。

これは学齢人口減少による学校運動部中心のスポーツシステムの限界を克服し、高齢化社会に歩調を合わせてスポーツの効用価値を高めるための戦略的選択だ。

20日、全羅北道自治道によると、2028年までの5年間、登録スポーツクラブを現在の39から1700に、指定スポーツクラブを17から30に大幅に拡大するという内容を骨子とした「全羅北道特別自治道スポーツクラブ振興施行計画」を樹立した。

「全北特別自治道スポーツクラブ育成によるスポーツ先進化と道民スポーツ参加機会拡大」というビジョンの下、△スポーツクラブ接近性および認知度向上△スポーツクラブ振興インフラ造成△目的的同行プログラム運営△スポーツクラブ文化拡散など4つの目標の下で10個の推進課題を設定、これを実現するために体系的な支援に出る方針だ。

まず、スポーツクラブへのアクセス性を高め、認知度を高めることに力を入れるという構想だ。

スポーツクラブを大幅に拡大し、誰でも簡単に利用できるようにするというのが核心だ。

スポーツクラブの情報を盛り込んだリーフレットを製作し、道内254の公共機関に配布し、自治体の広報媒体を活用したキャンペーンを展開し、スポーツクラブに対する認識を高め、参加を誘導する計画だ。

スポーツクラブの安定的な運営のためのインフラ造成にも速度を上げる方針だ。

このためにスポーツクラブ振興条例を制定・改正し、道体育会と市郡体育会にスポーツクラブ専門担当人材を配置し管理体系を確立することにした。

公共および学校体育施設をスポーツクラブが活用できるように情報を提供し、スポーツクラブ自体施設確保のための融資支援も推進する一方、スポーツクラブが単純に運動だけをする空間を越え、地域社会と共に成長する空間になるよう多様なプログラムを運営することに下絵を描いた。

エリート選手の発掘及び育成プログラムを拡大し、スポーツ有望株を育成し、スポーツクラブ交流大会の開催、メンター・メンティプログラムの運営などを通じて、動機付けと交流増進を図るという腹案だ。

また、スポーツ疎外階層のための体育福祉事業、地域観光と連係したスポーツプログラム運営など地域社会と共にするスポーツクラブ文化を作る予定だ。

その他に会員中心の民主的運営体系を構築し、安全および人権を尊重するスポーツクラブ文化を拡散することにも力量を集中する計画だ。

全羅北道自治道の関係者は「学齢人口の減少と高齢化という社会的変化の中でスポーツクラブが地域社会の求心点の役割を果たし、スポーツを通じた健康増進、社会統合、地域経済活性化など多様な効果を創出する」とし「スポーツクラブを草の根体育の中心に育成し、道民皆がスポーツを楽しむ元気で活気に満ちた社会を作っていく」と話した。

出典：<https://www.domin.co.kr/news/articleView.html?idxno=1481543>

07 週間スポーツニュース

「スポーツ人権向上に安昌浩候補の適任者」… スポーツ界歓迎

<https://www.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0020453074&code=61221111&cp=nv>

国民体育振興公団、最高スポーツ産業アイテム選定

<https://www.starnewskorea.com/stview.php?no=2024082713332211315>

「韓日中ジュニア総合競技大会」欧米で開催… 青少年スポーツ交流

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240826051700053?input=1195m>

障害学生たちのeスポーツフェスティバルが開かれる… 「障害学生eフェスティバル」開催

<https://game.mk.co.kr/news/it/11101353>

シン・ユビン、スポーツスターブランド2024年8月… 1位

http://www.beyondpost.co.kr/view.php?ud=20240827085851597646a9e4dd7f_30

洪明甫号のパレスチナ戦もテレビで見られないのか？OTTスポーツ時代の影

<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=8044735&ref=A>

KSP0 スポーツ価値センター、忠清南道とニュースポーツキャンプ開催

<https://www.newsl.kr/sports/general-sport/5521859>

ベアブルースの「予告ホームラン」ユニフォーム320億ウォン落札… スポーツオークション史上最高価格新記録

https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202408261442003&sec_id=510301&pt=nv

海洋スポーツ都市の浦項を知らせる… 「2024 ウォンドンカップ国際ヨット大会」参加

<https://www.segye.com/newsView/20240826516325?OutUrl=naver>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>